

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択 CNS選択必修
<u>担当教員</u>			
◎伊豆上智子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間			
	【担当教員】 【氏名】 ◎伊豆上 智子	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 313	【メールアドレス】 izugami@niigata-cn.ac.jp	
	【本学の科目区分】 専門分野				
	【D P 1】 ◎	【D P 2】 ◎	【D P 3】 ◎	【D P 4】 ○	【D P 5】 【D P 6】

到達目標	1. 看護管理の対象と実践の場に対応するマネジメントのあり方を考察し、事象に関連する理論や具体的な管理手法の概要を説明できる。 2. 看護管理者・高度実践看護師として、看護職や多職種の協働を調整し、質の高い看護サービスを提供する方法を検討し提案できる。 3. 看護活動の場の特徴を踏まえて、提供する看護サービスの質を保証する具体的な方法を検討して提案できる。 4. 文献検討を行って、看護管理者・高度実践看護師として目指す看護サービスの実現に向けた具体策を提案できる。 5. 自身が提案した看護管理者・高度実践看護師として目指す看護サービスの実現に向けた具体策について、意見交換を通じて考察し、実行計画を立案できる。
------	--

授業概要	保健医療福祉制度や政策を概観しながら、看護サービス提供システムにかかわる基本理論を学び、看護サービス提供に不可欠な管理資源とそのマネジメントについて理解を深める。看護活動の場の特徴を踏まえて対象者のニーズに応える看護サービスを継続的に提供するために、看護職や多職種の協働が効果的かつ効率的に行われるよう調整し、看護の対象者と提供者の双方の安全を確保する方策を検討して、提供する看護サービスの質を保証するマネジメントのあり方を探求する。討議や課題プレゼンテーションを通じて、看護管理者・高度実践看護師として目指す看護サービスの実現に向けた方策を探る。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護管理学概説 学修内容：・看護管理学の基本的要素と関連する学問領域、管理資源とマネジメントプロセス 備考：伊豆上
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護サービスの提供と組織 学修内容：・組織論、看護組織の特徴、組織目的の達成とリーダーシップ、保健医療福祉に携わる多職種との協働・調整 備考：伊豆上
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：専門職と看護 学修内容：・専門職の自律性と倫理、専門職組織、高度実践看護師の役割と機能 備考：伊豆上
	4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護を取り巻く保健医療福祉制度と政策(1) 学修内容：・看護の基本となる法と政策 備考：伊豆上
	5	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護を取り巻く保健医療福祉制度と政策(2) 学修内容：・ヘルスケア提供にかかわる法と政策 備考：伊豆上
	6	授業内容 授業形態：討論 学修課題：課題プレゼンテーション(1) 学修内容：・文献を用いて看護管理にかかわる課題を提示し、討論のテーマ(1)(2)(3)を決定する 備考：伊豆上

	7	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護サービスの提供と安全管理(1) 学修内容：・医療・看護にかかわるリスクと安全管理、医療事故対策、感染予防対策、災害の予防と対応 備考：伊豆上
	8	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護サービスの提供と安全管理(2) 学修内容：・安全な労働環境の構築、労務管理 備考：伊豆上
	9	授業内容 授業形態：討論 学修課題：課題プレゼンテーション(2) 学修内容：・討論テーマ(1) 発表と意見交換 備考：伊豆上
	10	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護情報の管理と活用 学修内容：・情報の概念と特徴、情報倫理、看護管理実践と情報 備考：伊豆上
	11	授業内容 授業形態：討論 学修課題：看護と経済 学修内容：・経済学の視点、看護の生産と消費、看護師の労働需給 備考：伊豆上
	12	授業内容 授業形態：講義 学修課題：課題プレゼンテーション(3) 学修内容：・討論テーマ(2) 発表と意見交換 備考：伊豆上
	13	授業内容 授業形態：討論 学修課題：看護サービスの評価 学修内容：・サービスの特徴と看護、サービス評価の視点と看護の質 備考：伊豆上
	14	授業内容 授業形態：講義 学修課題：課題プレゼンテーション(4) 学修内容：・討論テーマ(3) 発表と意見交換 備考：伊豆上
	15	授業内容 授業形態：発表 学修課題：課題プレゼンテーション(5) 学修内容：・目指す看護サービスの実現に向けた具体策を提案し、意見を交換する 備考：伊豆上
事前・事後学習		事前学修：各回講義資料に次回講義までの事前学修課題を指示する。 事後学修：講義時の学修内容を振り返り、各自の看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。
評価方法、評価基準		到達目標1～3に対して、課題プレゼンテーション(1)～(4)60%により評価する。 到達目標4、5に対して、課題プレゼンテーション(5)20%、レポート20%により評価する。
テキスト		テキストとして下記の書籍から別途指定するページを使用する（該当箇所は第1回講義時に説明する）。 増野園恵(編)(2025)：看護管理学習テキスト第3版 第1巻 ヘルスケアシステム論2025年版。日本看護協会出版会。 秋山智弥(編)(2025)：看護管理学習テキスト第3版 第2巻 看護サービスの質管理2025年版。日本看護協会出版会。 手島恵(編)(2025)：看護管理学習テキスト第3版 第3巻 人材管理論2025年版。日本看護協会出版会。 勝原裕美子(編)(2025)：看護管理学習テキスト第3版 第4巻 組織管理論2025年版。日本看護協会出版会。 金井Pak雅子(編)(2025)：看護管理学習テキスト第3版 第5巻 経営資源管理論2025年版。日本看護協会出版会。 増野園恵(編)(2025)：看護管理学習テキスト第3版 別巻 看護管理基本資料集2025年版。日本看護協会出版会。 角田由佳(2020)：看護サービスの経済・政策論；看護師の働き方を経済学から読み解く(第2版)。医学書院。
参考図書・資料等		テキストに指定した書籍の他、講義内容に応じて紹介する。 講義時に紹介したウェブサイト上から入手可能な資料は入手する(紙面配布は行わない)。
受講、課題、資料配布等のルール		全15回の講義は、時間割に示す日程で、集中講義として3回ずつ実施する。 講義資料は適宜配布する。 課題プレゼンテーション(全5回)の実施要領、レポートの課題と作成要領は第1回講義時のガイダンス時に説明する。
教員からのメッセージ		看護の提供にかかわる様々なトピックに関心を持って自ら情報を収集して授業に参加してください。 看護管理者・高度実践看護師として目指す看護サービスを具体的に構想して、実現のための実行計画を立案しましょう。
オフィスアワー		事前にメール等で日時を予約してください。